

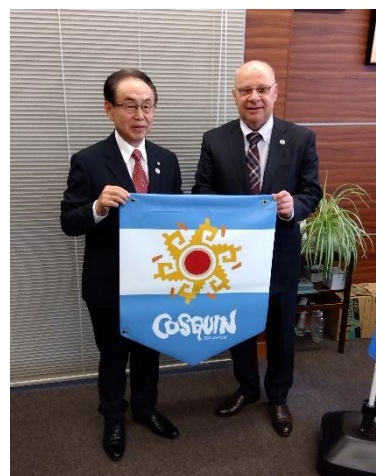
## 全日本フォルクローレ・フェスティバル「コスキン・エン・ハポン 2025」 参加報告

穴戸和郎

去る 10 月 12 日、福島県川俣町を訪れました。掲題のフェスティバルに当協会が招待され、代表として筆者が赴いたものです。今回、「コスキン・エン・ハポン」は、第 48 回を数えます。<sup>1</sup>

また、今年は、川俣町が町村合併により誕生した 70 周年に当たります。さらには、昨年 12 月にアルゼンチンのコルドバ州コスキン市<sup>2</sup>と姉妹都市提携を結んだばかりとあって、祝賀ムードが最高潮。

ようやく秋本番の到来を感じさせる澄んだ空気の中、会場である中央公民館周辺には熱気が漂っていました。中央公民館の前庭では、アルゼンチン料理（エンパナーダ、チョリパン等）や民芸品、ケーナなどの楽器、川俣町の特産品などを扱う出店が立ち並び、全国から参集した出演者がリハーサルを繰り返し続けています。



テンポーネ大使の藤原町長表敬



会場の中央公民館

式典は、コスキン市との姉妹都市提携記念サインボードの除幕式から開始されました。その後、ホールに場所を移し、藤原町長や来賓のテンポーネ駐日大使のご挨拶。さらには、「70 周年」と「姉妹都市提携」を記念してのスペシャルコンサートとして、本国から著名なフォルクローレ歌手であるペテコ・カラバハル、カロリーナ・ペレリティ両氏を招いての特別公演が催されました。本場の一流歌手のステージに会場は興奮のルツボと化しました。

<sup>1</sup> このイベントの詳細については、昨年 10 月の会報電子版「全日本フォルクローレ・フェスティバル「コスキン・エン・ハポン 2024」開会式 参加報告。」をご参照下さい。

<sup>2</sup> 毎年、フォルクローレの国民音楽祭が開かれる。川俣町のコスキン祭はこの音楽祭に由来。



除幕式



姉妹都市提携記念サインボード



ペテコ・カラバハル、カロリーナ・ペレティ両氏の特別公演

コスキン市のフェスティバルに送る代表を選ぶコンテストには日本各地から計4組がエントリーしましたが、いずれ劣らぬ名演奏・演技で、優勝者を決めなければならない審査員が頭を抱えている姿が印象的でした。



山々に囲まれた東北ののどかな町で、このような遙か南米の地にも繋がるイベントが開催されていることは、驚きであり、爽快感すら覚えます。草の根の国際親善が持つ可能性の大きさを感じました。

(ししど かずろう：当協会常務理事)